

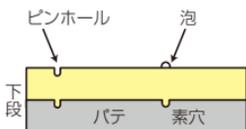
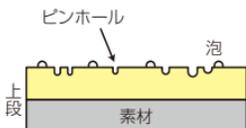
3-1 ピンホール(ワキ・泡)

現象

- 塗膜に針(ピン)で突いたような小穴ができたり泡状の小さなフクレができる。

原因

- 塗膜中の溶剤が表面乾燥途上に急激に蒸発し、その跡が穴や泡となり残る。
(部品のコーナー部など、留りやすい個所に発生)
しやす



環境による要因

- 【 温度が高い 】
- 【 風速が速い 】



設備・機器による要因

- 【 温度設定が高過ぎる 】
- 【 ボデーと乾燥設備が近すぎる 】
- 【 エアー中の水分 】



塗装作業による要因

- 【 吐出量が多い 】
- 【 厚塗り 】
- 【 パテの素穴 】
- 【 吹付圧が低い 】
- 【 粘度が高い 】
- 【 セッティング不足 】



使用誤りによる要因

- 【 シンナーの選定不適(蒸発が速すぎる) 】
- 【 希釈率が低い 】



対策

- 不必要な厚塗りをさける。
- 加熱は徐々に昇温させ、溶剤の急激な蒸発をさける。
(セッティング～予備乾燥～本乾燥)

処置

- ピンホール個所を研ぎ落とし、再塗装する。